

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 02020020

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 (平成24年度創設) オホーツク紋別—羽田便を利用した町民、及び町民以外で道外から同便を利用し、雄武町内の宿泊施設、親戚知人宅に宿泊した人に対し、助成金を交付する。
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	A	
単位施策	2 公共交通の維持・確保	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	雄武町オホーツク紋別空港利用促進助成事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	2 財務企画課	
事業主体	雄武町	関係課	9 産業振興課	
事業指標	紋別—羽田便利用助成実績延べ人数		#N/A	
事業目標	延べ6,000人/年	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	有 第一義的利用助成対象者は町民である。	関係例規・法令名	有 雄武町オホーツク紋別空港利用促進助成金交付要綱	
		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	・助成金の交付	・助成金の交付	・助成金の交付	・助成金の交付 (現年度分) 21,400千円 (前年度からの繰越分)17,887千円	・助成金の交付	・助成金の交付
	事業費(千円)	193,311	38,506	38,506	39,287	38,506
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	14,887			14,887	
	道支出金	0				
	地方債	95,000	20,000	20,000	15,000	20,000
	その他	0				
実績事業費	事業費(千円)	172,967	18,705	33,459	40,896	40,404
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	15,468			15,468	
	道支出金	0				
	地方債	90,000	15,000	20,000	15,000	20,000
	その他	0				
実績事業費	一般財源	67,499	3,705	13,459	10,428	20,404
関 連 事 項	特定財源の名称 過疎債(ソフト) 地方創生先行型交付金	【評価・実績】	(実施内容等) ・助成金の交付	(実施内容等) ・助成金の交付	(実施内容等) ・助成金の交付 通常分 23,015,696円 ・助成金の交付 繰越分 17,880,000円	(実施内容等) ・助成金の交付
			※事務事業評価結果 B—継続/現状維持	※事務事業評価結果 A—継続/現状維持	※事務事業評価結果 A—継続/現状維持	※事務事業評価結果 A—継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	延べ4,660人(經由便期間除く)	延べ6000人	延べ6000人	延べ6000人
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	49%	87%	104%	105%
		全体達成率	10%	27%	48%	69%
	備考欄					

事業名	雄武町オホーツク紋別空港利用促進助成事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	佐々木幸博
		評価者 作成者 職氏名	財務企画課長補佐	大水 寛仁

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	紋別ー羽田便を利用する町民及び町内への通勤通学者、道外在住の雄武町宿泊者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	搭乗延べ人数、直行便運航月数								
【抱える課題やニーズは】	平成26年度以降、観光客などを中心に利用者が伸びており、直行便の通年運航が継続されているが、引き続き圏域自治体が一丸となって、利用促進策を講じていく必要がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	・紋別ー羽田直行便の通年運航維持 ・休止路線(紋別-千歳)の再開	① 搭乗延べ人数 (4月1日～3月31日申請受付分)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>6000人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>6191人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>103.2%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	6000人	実績値	6191人	達成度	103.2%
目標年度	平成29年度										
目標値	6000人										
実績値	6191人										
達成度	103.2%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果＝目的	紋別ー羽田直行便の通年運航により、町民の首都圏等へのアクセス向上、さらには観光客等の増加により地域経済の活性化を図る	② 直行便運航月数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>12か月</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>12か月</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	12か月	実績値	12か月	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	12か月										
実績値	12か月										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	助成金の交付(町民等)	紋別ー羽田便利用者に、片道1万円、往復2万円(小児料金の適用を受けた場合はそれぞれの半額、助成額を下回る航空運賃の場合はその負担額)を助成した									
	助成金の交付(道外在住で雄武町宿泊者等)	紋別ー羽田便利用者に、片道5千円、往復1万円(小児料金の適用を受けた場合はそれぞれの半額)を助成した									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	オホーツク紋別空港は、雄武町から車で1時間圏内にあり、東京直行便の継続運行は、町民の利便性維持はもちろんのこと、交流人口の拡大や観光政策、医師の確保等、地域振興に欠くことのできない拠点である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	平成26年度から羽田直行便通年運航が継続され、町の助成制度による利用者は目標の6,000人を超え、通年運航継続に貢献したことから、有効と判断する。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	道外者に対する助成単価を半額とし、助成金の相当額が地域経済へ循環していることから、概ね効率的と判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	航空運賃を負担した後の事後申請による助成であり、雄武町民であることや雄武町に宿泊した事実等をもって交付決定しているため公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町民及び町外者ともに利用者増が維持されており、空港全体の利用者数確保にも貢献し、目標値を達成したことから、直行便通年運航維持が図られる。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も継続して、町民等に対する利用を呼びかけるとともに、引き続き、ツアー客維持確保のための施策等について、関係機関との連携や広域的視点での施策にも取り組んでいく。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止